



はしかみ

No.27

11月号 (November)

議会だより

暮らし人
地域を豊かに



「行政視察先の中能登町議会議員と（石川県中能登町役場前）」

～6月21日から24日までの4日間、石川県へ県外行政視察に行ってきました。～



三陸復興国立公園
みちのく瀬風トレイル
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会

02 9月定例会

一般会計決算
町税収納率3年連続上昇

05 ここが聞きたい

3議員が一般質問

10 県外行政視察

16 議会報告会

11月24・25日開催

第 4 回 9 月 定 例 会

平成 28 年第 4 回定例会を 9 月 8 日開会し、9 月 13 日閉会しました。
今回の議会では、認定 1 件、報告 2 件、条例の一部改正 2 件、補正予算 5 件、その他 3 件、計 13 件が上程されました。審議の結果、いずれも全会一致で認定、可決しました。一般質問は、3 人の議員が行いました。

一般会計決算

3 億 4 7 5 2 万 円 の 黒 字 !

歳入 65 億 4 3 0 5 万 円 歳出 61 億 8 7 6 0 万 円

▽ 27 年度 一般会計決算

歳入（収入）は、65 億 4 3 0 5 万円、歳出（支出）は、61 億 8 7 6 0 万円。

28 年度へ繰越すべき財源 7 9 3 万円を引いた実質収支額は、3 億 4 7 5 2 万円で、黒字を継続中です。このうち 2 億円を、基金に積み立てました。

歳入では、地方交付税が 37・1% で最も高く、町税 17・0%、国庫支出金 11・3% の順となっています。自主財源は 30・0% で、町税の収納額が前年度より増額となり、収納率が 3 年連続で上昇しました。依存財源は 70・0% で、前年度より地方消費税交付金、国庫支出金が増額となりましたが、県支出金が減額となりました。

目的別歳出では、民生費が 23・6% で最も高く、障害福祉費、児童福祉費の扶助費等が主なものとなって

います。

2 番目は総務費の 18・6% で社会保障・税番号制度推進事業費、庁舎整備事業費、プレミアム商品券発行事業費補助金などが主なものです。

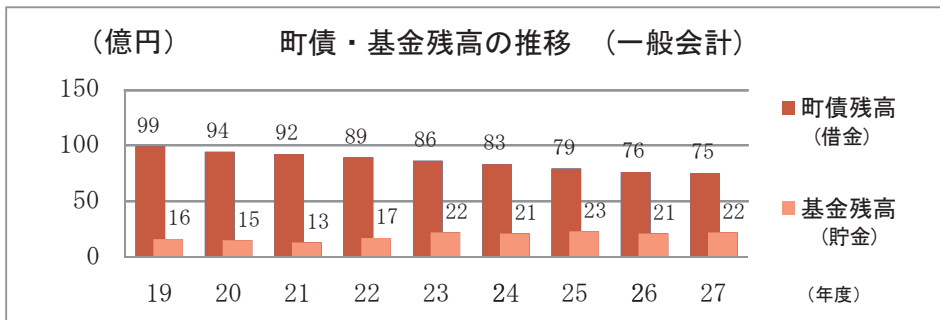
次いで教育費の 14・1% の順となっています。

性質別歳出では、義務的経費（人件費、扶助費・公債費）が 41・6%、投資的経費（普通建設事業費、災害復旧事業費等）が 15・9%、その他の経費（物件費、維持補修費、補助費等、積立金、出資金貸付金、繰出金等）が 42・5% となりました。

財政構造の弾力性を判断する経常収支比率は、88・0% で、前年度比 5・2 ポイントの減となり、引き続き改善されました。

町債現在高は、借入額の抑制により 74 億 9 3 6 4 万円となり、前年度より 8 9

7 3 万円の減となりました。



「暮らし・人・地域を豊かに」

～ 平成 27 年度決算の主な事業 ～

【総務費】

社会保障・税番号制度推進事業費 4 8 8 5 万円、防犯灯電気料・設置費補助金 2 6 4 9 万円、コミュニティバス・スクールバス運行委託料 2 5 3 0 万円、サンデー 2・4 巡回バス運行委託料 2 4 5 万円など。

1 2 9 0 万円、寺下・土折線林道改良工事 2 2 9 5 万円、水産振興事業費補助金 2 1 5 万円、漁港維持工事 2 7 1 万円など。

【民生費】

自立支援事業費 2 億 4 4 3 5 万円、臨時福祉給付金 1 6 6 2 万円、子どものための教育・保育給付費 3 億 8 0 5 6 万円、放課後児童健全育成事業委託料 1 2 6 1 万円など。

【商工費】三陸復興国立公園維持管理委託料 6 4 4 万円、観光 P R 事業費 6 3 4 万円など。

【土木費】

除雪作業委託料 4 4 8 6 万円、町道維持補修委託料 2 9 3 6 万円、新築住宅支援事業費補助金 1 5 0 万円など。

【衛生費】

住民検診委託料 2 6 7 2 万円、健康寿命延伸事業費 2 8 3 万円、ごみ収集及び処理委託料 2 3 8 5 万円、浄化槽設置費補助金 1 2 4 4 万円など。

【消防費】消防デジタル無線受令機 2 5 4 万円、沿岸地区津波避難看板等整備工事 2 2 7 7 万円など。

【教育費】

奨学資金 2 7 8 4 万円、社会教育活動事業費 1 8 3 万円、道仏コミュニティセンター（仮称）整備事業費 3 億 3 4 8 万円など。

【農林水産業費】

青年就農給付金 4 5 0 万円、わけ交流センター改修事業

国保税収納率2年連続アップ 3・52%の増

特別会計決算

▽27年度国民健康保険特別会計決算
歳入は、20億6662万円、歳出は、20億1762万円、4900万円の黒字。そのうち2500万円を国保会計財政調整基金へ繰入れ。

▽27年度介護保険特別会計決算
歳入は、12億2432万円、歳出は、12億1060万円、1372万円の黒字。そのうち1319万円を介護給付費準備基金へ繰入れ。

▽27年度漁業集落排水事業特別会計決算
歳入は、3846万円、歳出は、3783万円、62万円の黒字。

歳入は、国民健康保険税4億1206万円、国庫支出金4億5934万円、療養給付費等交付金4594万円、前期高齢者交付金2億4472万円、県支出金9947万円、共同事業交付金4億9458万円、繰入金2億4975万円など。

歳入は、国庫支出金2億8227万円、支払基金交付金3億1490万円、県支出金1億5990万円など。

歳入は、総務費423万円、施設管理費867万円、公債費2495万円。

歳出は、保険給付費11億5236万円、後期高齢者支学金等2億1200万円、介護納付金1億594万円、共同事業拠出金5億208万円など。

歳入は、9887万円、歳出は、9832万円、56万円の黒字。

歳入は、国庫支出金7912万円、使用料及び手数料2138万円、一般会計繰入金1億2144万円、町債8830万

歳入は、保険料5318万円、繰入金4495万円。

歳入は、後期高齢者医療広域連合納付金8834万円。

円など。
歳出は、事業費1億6922万円、施設管理費3211万円、公債費9847万円など。

▽27年度健全化判断比率・資金不足比率

区 分	27 年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	- ※1	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	- ※1	20.00%	30.00%
実質公債費比率 ※2	11.8%	25.00%	35.00%
将来負担比率 ※3	75.1%	350.0%	
資金不足比率	- ※4	経営健全化基準 20.00%	

※1 黒字のため比率はありません。 ※2 自由になる財源の内、借金返済の割合。
※3 実質的な債務が、自由になる財源の何年分かの割合。
※4 公共下水道事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計の比率で、ともに黒字のため資金不足はありません。

【監査意見】 財源の安定確保と 効率的な行財政運営を

代表監査委員 三上孝八
監査委員 森 榮吉

▽一般・特別会計
27年度一般会計・各特別会計の予算の執行および事務処理は適法かつ適正な決算であると認められた。
歳入の柱である町税は、固定資産税及びたばこ税以外の税目の調定額、収入額が増となり、収納率が3年連続で上昇に転じ、明るい兆しがみえる。

引き続き、納税者の納税義務と税の公平負担の観点から、更なる収納率の向上を図り、収入未済額の圧縮に一層の努力をお願いする。
少子高齢化の進行に伴う社会保障費や扶助費、公共施設の維持管理費の増加などに加え、「暮らし・人・地域を豊かにする」、協働のまちづくりや防災体制の充実強化、地域資源を活かした産業振興や観光振興、健康づくりなど、多くの課題が山積し、財政環境は厳しい状況である。
これらの課題に的確に対応するため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に展開するなど、引き続き計画的、効率的な行財政運営に努め、協働のまちづくりの精神を十分に発揮しながら、諸施策を展開するよう要望する。

▽財政健全化指標
昨年と同様に財政の健全化が保たれている。
今後この状況を維持することを切望する。

保育対策総合支援事業費補助金に440万円 一般会計補正予算

2億3739万円を増額補正

▽28年度一般会計補正予算(第2号)
2億3739万円を増額補正し、予算総額を61億1325万円としました。

歳入は、国庫支出金5354万円、県支出金2969万円、繰越金1億3752万円等を増額しました。

歳出は、総務費332万円、民生費1億1558万円等を増額しました。

▽28年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
4183万円を増額補正し、予算総額を20億43万円としました。

歳入は、療養給付費等交付金395万円、繰入金2400万円等を増額しました。

歳出は、共同事業拠出金1973万円等を減額し、諸支出金172万円、

▽28年度介護保険特別会計補正予算(第1号)
664万円を増額補正し、予算総額を12億5030万円としました。

歳入は、国庫支出金137万円、支払基金交付金237万円等を増額しました。

▽28年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
386万円を増額補正し、予算総額を3億153万円としました。

歳入は、繰越金329万円等、歳出は、総務費386万円を増額しました。

▽28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
67万円を増額補正し、予算総額を1億191万円としました。

歳入は、繰入金11万円、繰越金55万円を増額しました。

歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金35万円等を増額しました。

平成28年度 一般会計・特別会計の補正予算額

区 分	補 正 額	予 算 総 額
一般会計補正予算(第2号)	2億3,739万円	→ 61億1,325万円
特別会計	国民健康保険(第2号)	4,183万円 → 20億 43万円
	介護保険(第1号)	664万円 → 12億5,030万円
	後期高齢者医療(第1号)	67万円 → 1億 191万円
	公共下水道事業(第2号)	386万円 → 3億1,553万円

金額はすべて表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

条例の改正・その他

■条例の一部改正

▽階上町指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正をするための一部改正。

▽階上町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正
指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正をするための一部改正。

■その他
▽物品の買入れについて
名称
水槽付消防ポンプ自動車(CD-IIB型)
数量 1台
買入金額
2257万円
契約者
株式会社八戸鉄工所

▽教育委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて
2人の委員の任期満了に伴い、荻ノ沢俊明氏・石岡れい子氏の任命に同意しました。

■陳情・意見書
▽安全・安心の医療・介護を求める陳情
陳情者 青森県医療労働組合連合会
(教育民生常任委員会に付託。採択。)

▽安全・安心の医療・介護を求める意見書
①夜間・交替制勤務を行う看護職及び介護従事者などの労働環境の改善を図ること。
②医師・看護職及び介護従事者などの十分な確保策を講じること、の2点を要望します。

提出先 国



石岡 れい子氏



荻ノ沢 俊明氏



一般
質問

ここが聞きたい

9月定例会では3人の議員が登壇し、町側の考えをいただきました。要旨を掲載しています。



小松雅彦 議員

Q① 保育園等における業務効率化推進事業は、保育士の業務負担軽減を図るための保育システムの購入に必要な費用を支援するところか。

また、保育園等におけるカメラの設置に必要な費用を支援するところか。

保育士の負担が軽減できる事業の内容、実施主体及び補助率等の町の取り組みについて伺いたい。

A① 町長 町内にある保育園4施設では、現在、園児台帳や保育日誌などそれぞれ任意の様式を作成し、保育業務を行っている。

また、カメラについては、現在、玄関に防犯用として、3施設で設

保育園等におけるICT化推進等は

町長／保育対策総合支援事業を実施

置している状況である。

国では、保育士の事務の省力化を図り、保育士の業務負担の軽減を図るためのICT化への補助事業を実施している。

国の補助事業の内容については、保育士の負担となっている指導計画や園児台帳、勤務シフト等の書類作成業務の負担軽減に資するため、ICT

化を推進するための保育システム（1施設当たり100万円を限度）の導入経費に対する補助や、

保育中の事故防止や万が一事故が発生した場合の検証が可能となる教室等へのカメラ設置（1施設当たり10万円を限度）の費用に対する補助となっている。

事業主体は、市町村であり、国が事業費の4分の3を補助し、市町村が4分の1を負担するもの

である。

今回の補正予算に、「保育対策総合支援事業補助金」として4施設分440万円を計上し、この事業を実施することにより、保育士の業務負担軽減と子どもの安心・安全な環境の確保に努める。

子ども子育て支援新制度施行に伴い策定した

「階上町子ども・子育て支援事業計画」を基に、

関係機関と連携を図り、さらに質の高い教育・保育を目指し取り組んでいきたい。



道仏保育園



幼保連携型こども園 石鉢保育園



幼保連携型こども園 はまゆり保育園



幼保連携型こども園 階上保育園



長根岩夫 議員

企業版ふるさと納税は

町長／地方創生応援税制により対応

と・しごと創生総合戦略に位置付けた15の施策について、企業からの寄附募集を行いたい。

管理職の女性職員はなく、外部研修受講率の向上や管理職等に占める女性職員の割合の向上を目指す。

Q① 国において、地方創生に係る改正地域再生法が4月に成立し、地方創生推進交付金や企業版ふるさと納税が創設された。企業版ふるさと納税の取り組みについての展望と目標を伺いたい。

Q① 行政手続きの簡素化として、窓口申請の押印省略などを平成29年度から実施とあるが、実施の項目と内容及び時期について伺いたい。

A① 町長 事務等の改善の取り組みの一つとして、町民の申請等の負担軽減を図るため、押印の見直しに取

A① 町長 地方創生応援税制は、企業が自治体に寄附をする

と寄附の3割に当たる額が、地方税の法人住民税と法人事業税、国税の法人税から差し引かれ、これまでの損金算入措置を加えると上限で6割が軽減される。寄附の対象

は、国から地方再生計画の認定を受けることが必要で、申請時、1社以上の寄附を行う企業が見込まれていることが要件である。さらに、1企業における1事業当たりの寄附額の下限が10万円などとされている。今後、階上町まち・ひ

第5次階上町行財政改革は

町長／実施計画を策定し改革を推進

Q① 行政手続きの簡素化として、窓口申請の押印省略などを平成29年度から実施とあるが、実施の項目と内容及び時期について伺いたい。

Q② 公共工事入札の予定価格の事前公表の取り止め、また、最低制限価格の見直し内容と効果について伺いたい。

A② 町長 町最低制限価格制度実施要綱で、ダンピング受注のため個々の諸経費について、それぞれ一定の率を乗じた額により設定品質確保のため、本年現場管理費についての見直しを行った。予定価格は、国の関係省庁連絡会議で策定された発注関係事務の運用に関する指針では「原則として事後公表と

A② 町長 町最低制限価格制度実施要綱で、ダンピング受注のため個々の諸経費について、それぞれ一定の率を乗じた額により設定品質確保のため、本年現場管理費についての見直しを行った。予定価格は、国の関係省庁連絡会議で策定された発注関係事務の運用に関する指針では「原則として事後公表と



ふるさと納税

する」ということが示され、本町においても、事後公表への見直しを行うこととした。これにより、適切な入札や、事業者の積算技術の向上が期待され、抽選による入札も減少すると考える。

Q③ 特定事業主行動計画に基づく女性の活躍の推進とあるが、町の方針や内容について伺いたい。

A③ 町長 特定事業主行動計画を4月に策定し、計画期間を5年間と定め取り組んでいる。平成27年度は、

Q④ 町教育支援委員会の委員定数の削減の検討について、見直しの実施年度が示されていない。また、定数が30名と特に多く、改善が必要と思うが、所見を伺いたい。

A④ 町教育支援委員会の委員定数の削減の検討について、見直しの実施年度が示されていない。また、定数が30名と特に多く、改善が必要と思うが、所見を伺いたい。

Q⑤ 災害時生活用水活用井戸制度について、平成29年度までの検討とあるが、実施についての方向性が示されていない。制度化する考えがあるか伺いたい。

A⑤ 町長 大規模災害時の断水時、生活用水の確保策として検討。方向性としては、町内に点在する個人宅の井戸水を近隣の方に生活用水として提供いただくことを想定し、地域の自主防災組織との情報共有を図り検討していく。

Q⑥ 空き家の適正管理の推進について、総合戦略では、移住・U・I・ターンを掲げている。借上げ・貸出し等リンクした事業を検討してはどうか。また、管理者のいない老朽化した建物への行政代執行等、早急に検討を要すると思うが、町の所見を伺いたい。

A⑥ 町長 空き家と利用希望者を登録いただき、情報提供を行い定住促進を図る。借上げ事業等は、民間事業者との関連もあり、現時点では考えていない。空き家対策の適正かつ円滑な実施のため、空き家対策の推進に関する特別措置法に基づき、条例制定も含め検討していく。



大下 修 議員

まち・ひと・しごと創生総合戦略は

町長／現在、制度設計を進めている

Q①

まち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口減少を克服し、活力ある社会を実現することを趣旨としている。

国は、今年度より多子世帯に係る措置として、年収360万円未満相当の世帯については、第2子の保育料を半額、第3子以降を無償化することとしている。

当町の人口減対策として、「子育て世帯の定住促進」が必要と考え、総合戦略の主要事業一覧No.85駅前団地分譲の促進（※1）を図るためにも、No.86新築住宅支援事業で、子育て世帯への補助拡大により、定住促進を図ることができると考える。例えば、子育て世代に限り、対象工費の2%、上限60万円の補助、義務

Q②

出生率の向上とともに、町外からの子育て世代の移転者の増加のためにも財政状況も理解しているが、是非検討していただきたい。

A②

建設課長 個人の財産となる家屋・住宅に対する支援であり、財源は町の単独費となることから、慎重に検討しながら制度設計を進めていく。

※1：No.85駅前中央団地分譲とは

- ・道仏榊山団地に住宅団地11区画を分譲。
- ・分譲面積は、68坪から142坪。
- ・子育て中の世帯に対する優遇制度を導入するなど、販売促進を図る（拡充）。

特別会計の一般会計からの繰入金

町長／効率化・経営健全化に取り組む

Q①

財政の健全化を目的に、特別会計の国民健康保険の税率が改正されたが、漁業集落排水事業と公共下水道事業の財政健全化をどのように進めていくのか伺いたい。

A①

町長 本町では、事業収支計画の営業収益確保のため、水酸化率向上に向けた啓発運動や使用料適正化を行ってきた。使用料は、平成25年度に一般会計繰入額の縮減を図るための料金改定を行った。

A②

建設課長 国は、対象経費の2分の1について一般会計から繰り出すことを条件とし、一般会計繰出金の2分の1について特別交付税で措置する。使用料の改定については、今後も国・県の指導を受けながら、適正な価格となるよう検討していく。

また、今年度は、下水道事業の中長期的な経営基本計画「経営戦略」（※2）を策定し、事業の効率化、経営健全化に取り組んでいく。

Q②

「経営戦略」策定に関しては、国の財政支援もあると聞いているが、この辺について伺いたい。使用料の改定は、5年

※2：「経営戦略」とは
・各公営企業が、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である。



大蛇地区漁業集落排水処理施設

質疑あれこれ

第4回定例会の議案の中から、質疑を要約してお知らせします。

27年度決算の認定

林 貢議員

◆協働のまちづくり事業
費補助金

問 地域の町民が自ら行う事業の補助金として43万7千円が5件に支払われているが、その内容と地域は。

答 総合政策課長 実施は、5つの地域。大蛇地区、草刈機の購入。赤保内地区、掲示板の設置。野場中地区、草刈機の購入。道仏地区、ゴミ収納庫の設置。小舟渡地区、草刈機の購入の5件。



荒谷憲輝議員

◆緊急通報体制と整備事業委託料

問 一人暮らしの高齢者や高齢者世帯の安否や健康状態、生活状況の確認を委託により行った内容は。

答 保健福祉課長 県の社会福祉協議会が運営する緊急通報システム福祉安心電話サービス事業を利用し、給付した緊急通報装置を運用する事について、町の社会福祉協議会へ1台月800円で委託したものである。県の社協のシステムの利用者負担金が月1千円で、利用者の方の負担は200円で、差額分の800円を委託料として実施。平成27年度は、延べ29名の利用、うち3名が新規利用となっている。

◆緊急通報装置の給付

問 一人暮らしの高齢者世帯等が受信センターと緊急連絡がとれる見守りシステムについて通報装置を3名の方に支給したとあるが、申込方法と許可条件は。

答 保健福祉課長 緊急通報装置機器と火災報知器とペンダント3点を給付。申込方法は、対象となる方が町に申請を行い、利用決定をするが、町民税の課税状況により利用者の負担をしていた。非課税世帯の方は、利用者の負担はなし。



緊急通報装置（福祉安心電話）

長根岩夫議員

◆公印の名称や字句、使用用途

問 公共交通対策費とまち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業で2つの公印が作られている。それぞれ公印の名称や字句、使用用途は。その他の委員会の公印の状況は。

答 総合政策課長 「階上町地域公共交通会議会長之印」の用途は、会議通知、陸運局等に提出する地域公共交通会議の協議が整っていることの証明書。
「階上町まち・ひと・しごと創生有識者会議会長之印」の用途は、会議通知と諮問に対する回答書。

答 総務課長 町長職印等のほか、他の委員会等の公印も存在し、公印規程に記載すべきものである。今後、全庁調査をし、必要なものは早急に公印規程に記載し、対応したい。

◆消防費の出動費用弁償

問 不審火における平成27年度の消防団員の見回り人数、これまでの被害件数と面積、被害金額、町の不審火への対応の現状と関係機関との連携は。

答 総務課長 平成27年度は、延べ人数786人、件数3件、面積1万1400㎡、被害額488万8千円。不審火に対する町の対応は、火災の消火、住民の避難誘導等の被害拡大の防止、消防団・広域消防・三八県民局との情報共有と連携、警察への情報提供等の対応をしている。



町防災倉庫

◆消防費の食糧費

問 災害発生対応用の食糧について、平成26年度、27年度に購入した賞味期限の近いものを有効活用しているのか。

答 総務課長 非常食の備蓄は、平成23年の震災後に寄附されたものがあるが、毎年少しずつ補充している。消費期限の迫ったものは、防災訓練、自主防関係者の集まりの時、男女共同参画の避難所設営訓練等の際に、古いものから順次使用し無駄にならないようにしている。

大江和夫議員

◆町PR事業

問 自転車収納庫の場所と自転車の利用状況は。

答 総合政策課長 場所は、鳥屋部のフォレストピア階上の脇、県道沿いで、自転車の台数は5台。利用状況は9人であり、今後PR事業が必要と考えている。

◆出会い移住・定住推進事業

大下 修議員

◆日本スポーツ振興センター負担金

問 昨年2回の実施で、81名の参加があったとのことであるが、結婚や移住・定住につながっているのか。

また、事後調査等で検証しているのか。

答 総合政策課長 町のPRと移住・定住に資するように、若い方々の出会うの場を設けるため実施し、追跡アンケートを行っている。アンケートに同意された方が38名、郵送での回答者は16名である。すぐには、効果がでないため、今後も引き続き事業を進めていく。



はしかみ♡物語 (第2話) 12月11日開催

また、平成27年度の給付実績はなかった。

保険の内容は、学校管理下で起きた病気やけが、例えば熱中症、体育や部活動中の捻挫等が対象。

畑中弘實議員

◆要保護・準要保護児童生徒の高校進学への支援

問 小学校、中学校教育振興費の扶助費で児童数116人、生徒数78人の計194人の子どもたちに要保護と準要保護として、675万4千円を町が補助している。高校進学についての支援の取り組みは。

答 教育課長 要保護・準要保護の給付の内容は、学用品などの購入費、体育実技の用具費、校外活動費、修学旅行費、新入学用品費の5項目である。本事業は、義務教育に就学の児童生徒に行うものであり、高校進学者に対しては、別途、無利子の奨学資金貸与で対応している。

28年度一般会計補正予算

長根岩夫議員

◆予防接種委託料

問 65歳以上の肺炎に対する予防接種と結核やほかの予防接種を受けていない世代への対応、町民へのPRをどのように考え、予防接種等を実施していくのか。

答 保健福祉課長 65歳以上の肺炎球菌に関して、65歳、70歳、75歳と対象者には、毎年4月に個別通知を実施。昨年度の接種率は45%。結核の予防接種は、一歳未満で接種。平成27年度の実績は、約92%。

はしかの予防接種は、1期目は、一歳までに行うこととし、出生届の際に説明し、88・5%の接種率。2期目は、小学校就学前に個別通知を実施し、97・6%の接種率。それでも受けない方には再度勧奨し、さらに電話での勧奨ということ、それぞれ接種については、説明をして進めている。

第5回臨時会

平成28年第5回臨時会は、10月18日に招集され、審議の結果、全会一致で可決しました。

▽物品の買入れについて

名称 福祉バス
数量 1台
買入金額 3186万円
契約者 いすゞ自動車東北(株) 青森支社八戸支店

林 貢議員

◆福祉バスの購入

問 バスの製造会社が減少している中で、仕様について身障者等も使用するため、使い勝手のあるバスを発注していただきたい。

答 総務課長 高齢者及び小さな子ども達も使用するため、十分配慮して発注、仕様等の確認をしていく。

進んでいます28年度事業

「暮らし・人・地域を豊かにする」重点施策の中から主な事業の進行状況をお知らせします。

▽追越・神漁港災害復旧

工事 追越・神漁港災害復旧
工事が完成しました。
完成日 7月29日
契約額 6145万円
契約者 (有)坂建設工業

▽赤保内小学校外構補修

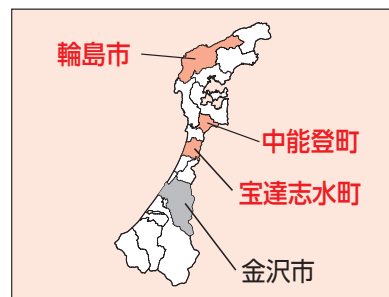
工事 赤保内小学校外構補修
工事が完成しました。
完成日 6月30日
契約額 3963万円
契約者 房間建設

県外行政視察研修

6月21日～24日、石川県への県外行政視察研修に12名の議員が参加。(研修内容の報告は11～13ページに掲載)

中能登町及び宝達志水町では、①総合戦略における移住・定住促進の取り組みについて②議会活性化に係る取り組みについて視察し、輪島市では、①海の駅について②移住・定住に係る取り組みについて③6次産業化支援事業について視察しました。

6月21日から24日までの4日間、石川県へ県外行政視察に行ってきました。衆議院議長である大島理森氏への表敬訪問を行い、議長公邸を見学した後、石川県中能登町、宝達志水町、輪島市の3市町へ行政視察に行ってきました。



(左)衆議院議長大島氏・表敬訪問



(右)中能登町の説明を聞く議員

	中能登町	宝達志水町	輪島市	階上町
人口※	18,581人	13,756人	28,624人	13,947人
面積	89.36 km ²	111.52 km ²	426.2 km ²	93.91 km ²
議員定数	14人	12人	17人	14人
議会の委員会	常任	総務産業建設 6人 教育厚生 6人	予算決算 17人 教育民生 6人 総務 5人 産業経済 6人	総務財政 5人 教育民生 5人 産業建設 4人
	特別	議会行革・活性化、鹿島地区統合小学校建設、庁舎統合建設、議会広報	広報編集、中学校建設、病院運営、議会改革、ふるさと人口対策	—
	議会運営 5人	議会運営 5人	議会運営 7人	議会運営 4人
議会の活性化	・議会基本条例の制定 ・通年の会期制導入	—	—	地方自治法第96条第2項による議決事件の追加

(※人口は28年6月1日現在)



中能登町議会では、開かれた議会を目指すため、議会活性化特別委員会等を組織。平成21年に女性協議会と、27年には区長会と「議会報告会」を開催している。また26年には、中能登町議会基本条例を制定し、同条例に基づき、通年議会等についても協議して、今年度より導入している。本会議の開催日を条例で定めることにより、会議を予見することが可能になる。さらに、1年を通して会期とするため常に議会を開く体制にあり、専決処分の件数が減り、その都度議案審議を行うことができる。



宝達志水町では、本会議において提出された議案を各常任委員会に付託、それぞれ審議し、本会議最終日に委員長が結果を報告。また、議会だよりに審査内容を「委員会ノート」として掲載。輪島市は、世界農業遺産に認定された能登の里山里海の地域資源を活用した6次産業化を行っている。また、地域の活性化を図るため、市と県が共同でマリンタウンプロジェクト事業に取り組み、その観光交流施設の一環として「海の駅」等が整備されている。

県外行政視察研修報告会

7月6日、視察研修報告会を行いました。
発言内容の要旨を掲載しています。

◆移住・定住促進の取り組みは？

中能登町、宝達志水町、輪島市における特徴のある支援事業を視察。

さらに、住宅支援や子育て支援に係る事業を研修してきた。

郷州議員 経済的に豊かな地域であるが、人口減少対策を行い、婚活や出産・子育ての満足度の向上のために取り組んでいる。

特に合計特殊出生率が高いのは、定住促進と人口減少対策の成果が出ているからではないか。

また、分譲地の造成事業・分譲事業は当町も見習うべきだと思う。

学校・中学校・高校・大学と進学のための成長祝い金があり、子育てに良い条件だと思う。

森議員 宝達志水町は、若者通勤サポートという30km以上の通勤をする方の通勤費の一部を補助するものがある。

3世代ファミリー同居近居促進事業、検定チャレンジ事業、宝達ビジネスアカデミー事業など、いろんな施策をとっている。

松尾議員 中能登町は、出産祝い金を第5子以上まで出すことで出生率が上がり、効果があると思う。

また、町有地を9団地412区画販売し、近隣や遠方からの移住がある。輪島市は、輪島塗の勉強のために大阪方面から来ている。そういうふう

に考えた方がいいのかなと思う。

畑中議員 宝達志水町は出産祝い金のほか、小



百目木議員 若者の通勤手当や、子育て支援事業としてチャイルドシートの補助があり、検討していきたい。

山田議長 子どもたちにもう少し手厚く補助・助成金を出すという考え方があ



大下議員 中能登町では、若者と子どもの定住をより促進するため、45歳で年齢を区分し、単身・家族世帯で金額の差を設け、最大100万円になるため、インパクトもある政策だと思う。子育てに重点をおいた政策が評価できる。

百目木議員 宝達志水町では、子ども・子育て支援として、18歳までの医療費無料化を実施している。さらに縁結びとして、結婚アドバイザーを配置している。

日本全国どこでも少子化は大きな問題だが、補助事業の数も多く、多額の金額を使っている。



◆議会改革・活性化の取り組みは？

議会改革・活性化に取り組んでいる先進議会である中能登町と宝達志水町を視察。

両町の取り組み状況等を研修してきた。

当町議会に活かせる取り組みについて意見を交わした。

る、常任委員会が難しくなっている、山間部に目が届かないなど、この辺も参考になると思う。

濱谷議員 宝達志水町

は、議員報酬額を1・15乗じて金額を上げている。若い世代でやりたい人がいれば、その方向にむけて進めているのは良いと思う。

上道議員 議会改革、

すこく開かれた議会だと感じる。議場が全て開放されていて、ケーブルテ

レビで、全戸に議会がオンエアされている。田子町が入れているので視察に行きたいと感じた。

宝達志水町の議会改革

は、インパクトある説明があった。議員が委員会等に出席した都度、手当が支給されるが、額が1千円から2千円に増額されている。

森議員 中能登町の広

報を見せてもらった。その中に「一般質問その後の追跡」という項目があった。以前質問した内容が、今どこまで進んでいるのか確認するのも、議員の役目ではないかという気がした。

畑中議員 宝達志水町

は、委員会が活発で年間を通して閉会中でも27回開催されており、私達議会もここを勉強しなければと思った。議案一件一件に賛成反対の審査結果があった。誰が賛成反対か分かるのも良いと思う。



松尾議員

中能登町では町議会基本条例を制定している。当町にはないのでこれは考えていった方がいいと思う。また、個人研修ということでも、議員派遣を実施しており、すごいと思う。

大江議員

中能登町議会では、質問者の席があった。町長と向き合っているの質問はいいと思う。当町も席が空いているので、活用すればマンツーマンの見方ができるか



郷州議員

議会に提案された議案が、各常任委員会に付託され、質疑をしていた。中能登町の予算と決算は、当町みたいに全員協議会の方が良いと感じた。細部については、付託がいいと感じた。

山田議長

中能登町で、議員ハンドブックを渡し

てくれた。議会活動や条例など、議員が必要とするのが、事細かくまとまっている。当町でも一つにまとめていると、非常に参考になると感じた。

百目木議員

宝達志水町では、平成27年に議員報酬を改正。議長33万、副議長28万、議員27万、そして常任委員会ごとに2千円出る。

ある程度改革しなければ、当然若い人も出てこないし、給料が安いと厳しい。将来的に、定数の削減話も出てくると思われる。階上全体を考えると、いかなければならない。

大下議員

両町とも、全員協議会や常任委員会等を月一回開催し、行政と議会が情報を常に共有している。行政と議会が情報の共有をはかり、意見をまとめ、公開していくことが重要だと思う。

荒谷議員

通年議会を行うことで、専決処分が減少し、全員協議会や常任委員会が頻繁に開催され、議会活性化となり、ケーブルテレビ放送で住民に理解されやすく、開かれた議会と感じた。

小松議員

常任委員会を月一回の開催により全員で情報共有され、良いことだと思う。宝達志水町では、議員定数を減らして仕事がいなくなる



◆海の駅は？

今後のハマの駅建設事業に伴い、輪島市の海の駅「六銘館」を視察。

海の駅の建設概要や運営状況・体制等、現地を視察。
海の駅などは、どのように見え、感じただのか。

全く考えていない。ホテルもある。

階上は、6mあると聞いているし、その点は大丈夫かなと思う。

荒谷議員

輪島市は、イベント開催広場や客船誘致、観光交流施設、運動場や住宅分譲などによる集客を図つての土地活用で、民間と協力し、雇用創出や街の向上を図っている六銘館だと感じた。

畑中議員

輪島市で募集し、6人の方がやっていく。魚を主体とするが、向こうは魚を全く置いていない。朝市が盛んで、全部まかなっているという事だった。

マリントウンプロジェクトは規模が大きく、すごくうらやましく感じた。

百目木議員

平成元年から埋め立てし、現在に至っているとのことで大変な事業だと思つ。その中で建物は海拔2mの場所に建ち、津波のことは

が、スポーツ施設があり、空気がないほどの予約がある。あそこに皆集約したのはいいなと思う。

山田議長

海の駅の関係がテレビで取り上げられていたと思うが、海の駅に限らず町で造る施設で、地域の方々が食堂を出す。そこで獲れた魚を利用し定食を作り、それを出し成功している町があるという番組があり、特徴のあるものを開発して客を呼ぶしかないのかという感じがする。

◆6次産業化支援事業は？

6次産業化支援事業の内容について、多くの観光客を呼び込んでいくが、どのような事業があるのか視察を行った。

その中で、当町で参考にできる事業があるか意見を交わした。

百目木議員

ワイン作りで、4千万円近い売上をあげているワイナリーがある。また、事業組合が地元の農産物を加工販売し、千枚田のレストランとも連携して、年間1億円の収入がある。輪島市の支所では、漁業組合関係者が、今まで全く売れなかったふぐをからあげにして、売上をあげている。町も参考にさせていただきたい。



国立公園に関連付けたものがあればいいと思う。

上道議員

千枚田のあぜのきらめきプロジェクトはすごく感激した。身近にあるペットボトルを利用するちょっとした発想で、農閑期の田んぼを観光地に変えたと聞き、誰しもが見逃していたが、すばらしい事業ができていくなと思う。

森議員

農産物の問題は、これまで流通と価格の設定、品質保持の関係で進んでいないという報告を受けた。

魚醤を始めとする水産物の方は、海の側であり、進んでいるなと感じる。

松尾議員

人材育成のために、やる気のある人達を集めて、輪島里山海塾を行っているのは、一つの手だと思つ。

能登の里山海を活用した取り組みが評価され、世界農業遺産に登録されている。これに関連づけて、生産から販売まで事業展開しており、当町も

畑中議員

市長が、放棄地に補助金を出し、千枚田を復活させるため、事業を始めた。トップが先導になり、進めているのはすごく良いと感じた。

大下議員

千枚田オーナー制度に始まり、あぜの万燈等「見せる」から、きらめきスープ&カフェ・能登の「食べる」へと、次々仕掛けていくことに感銘した。

議 会 活 動

8 月

- 2日 町防犯・交通安全少年球技大会
- 11日 三陸復興国立公園記念碑除幕式
- 17日 道仏交流センターオープンセレモニー及び見学会
- 20日 町連合父母と教師の会研修会
- 20日 双松福祉会夏まつり
- 23日 県議長会新人議員研修会
- 24日 郡議長会正副議長・事務局長研修会
- 28日 水と土と里の集い
- 29日 健康づくりセミナー及び試食会
- 29日 県民駅伝競走大会町選手団結団式
- 1日 議会運営委員会
- 2日 町老人スポーツ大会
- 3日 町総合防災訓練
- 3日 中核市移行記念シンポジウム
- 3日 八戸圏域定住自立圏形成促進議員連盟役員会

9 月

- 4日 県民駅伝競走大会町選手団反省会
- 8日 第4回定例会本会議
- 8日 議員全員協議会
- 11日 町民大運動会
- 12日 第4回定例会本会議
- 12日 教育民生常任委員会
- 12日 議会のあり方に関する検討委員会
- 13日 第4回定例会本会議
- 13日 かるしおモニター説明会
- 13日 議員全員協議会
- 16日 町小学生防犯弁論大会
- 20日 台風10号による被害現場視察
- 21日 秋の全国交通安全運動に係る町街頭広報活動
- 21日 八戸地域広域市町村圏事務組合議員協議会
- 26日 かるしおモニター中間報告会
- 30日 岩手・青森県境交通安全推進大会
- 30日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会定例会
- 30日 八戸市階上町田代小学校中学校組合議会協議会



10 月

- 1日 にんにくとべごまつり
- 1日 さんのへパークゴルフ場オープンングセレモニー及びオープン記念祝賀会
- 4日 議会のあり方に関する検討委員会
- 7日 議会だより編集委員会
- 11日 議員全員協議会
- 14日 議会だより編集委員会
- 18日 第5回臨時議会
- 18日 かるしおモニター結果報告会
- 18日 議員全員協議会
- 21日 議会だより編集委員会
- 21日 定住自立圏の形成に関する講演会・交流会及び八戸圏域定住自立圏形成促進議員連盟総会
- 27日 県議長会正副議長・事務局長研修会
- 28日 議会だより編集委員会
- 29日 町民文化祭（～30日）
- 31日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会議員行政視察（～11月1日）

議 長 交 際 費 執 行 状 況

番号	支払区分	支払月日	支 払 内 容	支出金額
1	会 費	10月1日	さんのへパークゴルフ場オープン記念祝賀会	4,000円
1	祝 金	8月20日	双松福祉会夏まつり	3,000円
2	祝 金	8月28日	水と土と里の集い	3,000円
3	祝 金	9月4日	県民駅伝競走大会町選手団反省会	3,000円
4	祝 金	10月1日	にんにくとべごまつり	5,000円

健康づくりセミナー

8月29日、ハートフルプラザ・はしかみで開催された「健康づくりセミナー」に、議員14人が参加。

- 講師 国立循環器病研究センター（大阪府）
バイオバンクNCBN推進室 室長
医学博士 高田 彰 氏
- テーマ 「脳卒中と腎臓病予防・かるしおの力、
第2ステージへ」～循環器病の制圧
に関する国循の取り組み紹介～



新人議員研修会

8月23日、青森市で開催された「新人議員研修会」に、議員8人が参加。

- 講師 新潟県立大学国際地域学部
国際地域学科准教授 田口 一博 氏
- 演題 「議会の使命に応えるために
発言の仕方、効果的な一般質問」



台風10号による被害現場視察

9月20日、産業建設常任委員会が台風10号による被害現場の視察を行いました。

ネギの倒伏、法面崩れ等の被災状況を確認しました。



中核市移行記念シンポジウム

9月3日、八戸市で開催された「中核市移行記念シンポジウム」に、議員13人が参加。

- 講師 東京大学
名誉教授 神野 直彦 氏
- 演題 「地方が主役の国づくりに向けて」
- 「未来のはちのへ」中学生作文コンクール
- パネルディスカッション



議会だより編集委員会

◇今月号の編集委員（3人）

- ・畑中 弘實 議員（教育民生）
- ・林 貢 議員（総務財政）
- ・荒谷 憲輝 議員（産業建設）



第18回定住自立圏の形成に関する講演会

10月21日、新郷村で開催された「第18回定住自立圏の形成に関する講演会」に、議員13人が参加。

- 講師 総務省自治行政局
市町村課長 小川 康則 氏
- 演題 連携中枢都市圏構想について



第4回 議会報告会開催のお知らせ

開催趣旨－議会活動や行政課題に対する取り組みの状況など、議会の説明責任を果たすとともに、町民の皆さんの意見や提言等を取りまとめ、町の発展と議会の活性化を図るものです。

主 催－階上町議会

◆次の日程・会場で開催します。

※ 開催時間は約2時間

開催日	1 班	2 班
11月24日(木)	ハートフルプラザ・はしかみ 18:30～20:30	石鉢ふれあい交流館 18:30～20:30
11月25日(金)	道 仏 公 民 館 18:30～20:30	森 の 交 流 館 18:30～20:30
議 員 班 編 成 (常任委員会)	山 田 惠 治 (総務財政) 百目木 和 俊 (産業建設) 松 尾 國 治 (教育民生) 濱 谷 貴 樹 (総務財政) 長 根 岩 夫 (総務財政) 小 松 雅 彦 (産業建設) 大 下 修 (教育民生)	畑 中 弘 實 (教育民生) 郷 州 公 典 (教育民生) 大 江 和 夫 (産業建設) 林 貢 (総務財政) 森 榮 吉 (教育民生) 上 道 二三男 (総務財政) 荒 谷 憲 輝 (産業建設)

※ 当日は2班に分かれてみなさまのところにお伺いします。

※ 報告会の内容

- ・ 議会のしくみ（役割）、議会活性化の取り組み状況、町政の重要課題
- ・ 議会運営、町政に関する意見・提言等

○どなたでも参加できますので、お誘い合わせのうえおいでください。

○地域の方の声や広く町民の声をきかさせていただくため、お一人様1会場の参加をお願いします。

【問合せ先】 階上町議会事務局 電話88-2369 FAX88-2117

編 集 後 記

9月定例会は決算議会でもあり、質疑も活発に行われました。今月号は、一般質問、県外行政視察研修報告等、紙面が多くなりましたが、議会議員の活動を、町民の皆さんに理解してもらえる議会だよりになるよう心がけました。
(畑中・林・荒谷)

議会傍聴者数 (延べ人数)

- ・ 第4回定例会 (平成28年9月)
9月8日(1人)
9月12日(8人)
9月13日(1人)
- ・ 第5回臨時会 (平成28年10月)
10月18日(0人)



発行／青森県階上町議会 〒039-1201 青森県三戸郡階上町大字道仏字天当平1-87 年4回発行 平成28年11月10日発行
編集／議会だより編集委員会 ☎0178-88-2369(直通) FAX 0178-88-2117 URL <http://www.town.hashikami.lg.jp>

はしかみ議会だよりは4,700部作成し、印刷経費は1部当たり68.2円です。